

■伊崎役所
江戸時代終わり交易の拠点となった
長目伊崎に置かれた臼杵藩の役所



■赤八幡神社神幸祭

秋季例大祭では神楽の奉納や御神幸には総勢 100 名を超える行列をつくる市内最大の祭礼行事



■海徳寺で行われた保戸島空襲戦後 80 年記念法要 (7 月 25 日)

市民図書館企画展

津久見市の文化財

ー 守り語り継ごう

地域のたからー

【展示期間】 10 月 28 日～3 月 1 日

「継承」をテーマとした展示

今年は「継承」の大切さを実感する一年となりました。戦後 80 年を迎え記憶の継承が課題となる中、津久見市では令和 5 年度から 3 年間「文化財保存活用地域計画」の作成を進めてきました。これは、次世代への継承を見据え、自然や歴史文化を再評価し活用する本格的な取り組みです。

今回の展示は写真パネルを中心に構成しており、「知る」「守る」「活かす」の理念のもと、「津久見らしさ」を象徴する文化財を紹介します。関連する文化財群を整理し、共通点や繋がりを見出すことで新たな価値を提示できればと考えています。

また、ギャラリートークや関連講座も開催予定です。

戦後 80 年という

節目にあたつて

2025 年は戦後 80 年の節目を迎え、戦争体験を語れる世代の高齢化により「記憶の継承」が重要な課題となっています。

津久見市では、児童 124 名を含む 127 名が犠牲となった保戸島空襲や中津留達雄大尉の特攻など、地域の悲劇を伝えるため「戦争の記録に学ぶ尊さ」展を 12 年にわたり開催してきました。

今年は「継承」をテーマに、保戸島空襲 80 年慰霊法要や関連講座を実施し、新聞でも全国的に報じられました。

これらの取り組みを通して、戦争の悲惨さと平和の尊さを学び、市民が郷土の歴史や文化の大切さを再認識し、次世代へ伝えるきっかけとなることを期待しています。



文化財専門員
山下 俊雄 さん



■千怒新地のみかんの段々畑と点在するみかん小屋
津久見市を象徴する景観のひとつ



■道尾の笑い地藏様
道尾の台に生育するタブノキの下に安置されたお地藏様で耳の病気などにご利益がある



■長幸無縫塔
県指定有形文化財 天正 3 (1575) 年・同 6 年の年号が刻まれている



■武速神社イロハモミジ
県指定天然記念物 八戸大村武速神社参道に生育する高さ 17.7m 幹回り 5.9m の巨木

■これから行われる祭礼行事の予定

- 11 月 8・9 日 下青江神社の秋の大祭 (獅子舞ほか)
- 11 月 15・16 日 平岩菅神社秋の大祭 (獅子舞・ヨドの火焚き)
- 11 月 14・15 日 長目地区ヨドの火焚き (14 日)
- 11 月 22・23 日 堅浦羽迫神社 霜月祭り (神楽・獅子舞・棒術・長刀)
- 11 月 29・30 日 徳浦神社祭典 (神楽・獅子舞)

※興味のある方は、事前に確認してお出かけください。

■平岩獅子舞
市指定無形民俗文化財
平岩菅神社秋の大祭に奉納される獅子舞

